

令和7年度 勤務医の負担軽減及び処遇改善に資する計画

①新規・・・新たな計画提案 ②未実施・・・計画されたが未実施 ③継続・・・実施中であり来年度も継続予定 ④保留・・・計画されたが運用検討の必要有 ⑤中止・・・既存の計画を中止 ⑥達成・・・計画実施済

番号	対応部署	現状・問題点	対応方針	具体的な計画	計画達成予定	判定部署
⑥	薬剤	薬剤の服用時間、用量、中止指示などは医師からの指示に基づいて行われるが、指示コメント入力自体が医師の負担になり、指示受をする看護師も、医師の指示がないと動けない状況であった	薬剤師による代行入力の実施	医師の指示に基づき薬剤師が処方の変更を代行入力することにより、医師の負担軽減になり、看護師の指示受けもスムーズに実施される。	達成済	薬剤部
③	—	NICU当直を小児科医師5名で行うため、難しい。医師の増員が必要	勤務上、法令を遵守した当直回数での勤務体制を構築する。	医師の夜間・休日の宿日直（当直）業務は法令回数を超えない様に当直表を作成・確認する。 また、医師のオンコール体制により専門分野の診療科医師に援助をしてもらうことによりかかる負担を軽減する。	令和10年度	医局
③	—	患者数の多い診療科では負担が増加してしまう。医師が1人の診療科では不可能、医師の増員が必要	複数主治医制の実施	これまで実施してきたチーム医療を土台にして、複数の医師によるチームの編成を推進し複数主治医制に移行しやすい環境を検討する。複数医師の確の出来ない診療科は他科医師との連携を図り、業務負担を軽減する。医師のオンコール体制により専門分野の診療科医師に補助してもらうことにより、かかる負担を軽減する。	令和10年度	医局
③	看護部	初診時の予診に係る負担軽減	外来看護師による問診の実施	初診時の予診について、問診票等の記載を患者を補助し外来看護師が実施する。	令和10年度	看護部
⑥	検査科	鼻腔・咽頭拭い液等の検体採取	臨床検査技師による検体採取作業の実施。	新型コロナウイルス感染症検査の一部と入院時MRSAスクリーニングの一部において、鼻腔1咽頭拭い液の検体採取を臨床検査技師が実施。	達成済	検査科
⑥	看護部	入院の説明の実施	病院全体での実施	外来において入院が決定した患者（家族）に、看護師から入院の説明を実施している。病院全体での入院前の患者説明について引き続き実施予定。	達成済	看護部
③	看護部等	検査手順の説明の実施	看護部をはじめとする医療職。	看護師が実施。実施職種の拡大等も踏まえて引き続き検討。	令和10年度	看護部

令和7年度 勤務医の負担軽減及び処遇改善に資する計画

①新規・・・新たな計画提案 ②未実施・・・計画されたが未実施 ③継続・・・実施中であり来年度も継続予定 ④保留・・・計画されたが運用検討の必要有 ⑤中止・・・既存の計画を中止 ⑥達成・・・計画実施済

番号	対応部署	現状・問題点	対応方針	具体的な計画	計画達成予定	判定部署
③	薬剤部	服薬指導	薬剤師が実施	全病棟に担当薬剤師を配置 ①薬学的管理 （投与量、投与方法、相互作用、重複投与、配合変化などの確認） （持参薬の確認とその中止や継続に関する安全管理） （副作用モニタリング、処方提案） ②患者服薬指導 （ハイリスク薬・麻薬など医薬品の投与前後の拡充） ③医薬品情報収集 （医薬品の安全性情報などの収集・周知）	令和10年度	薬剤部
⑥	検査	生検または手術による摘出標本の切り出し業務は、準備、写真撮影、記録、細切標本の管理、再固定や脱灰等、工程や業務量が多く、病理医のみで実施するには負担が大きい。	臨床検査技師による、切り出し業務介助	病理医が摘出標本の検索や肉眼的所見を得ることに集中できるよう、病理検査担当臨床検査技師が業務介助を行う。	達成済	検査科
⑥	検査	病理解剖の病理医負担軽減	臨床検査技師による病理解剖業務介助	病理解剖の準備、写真撮影、医師の指示の下に行う臓器固定やご遺体の清拭、後片付けを行う。	達成済	検査科
③	薬剤	バンコマイシン点滴静注の処方・検査オーダー入力の負担軽減	薬剤師による代行入力の実施	医師と協議のもと、投与量と血中濃度測定日を決定し、代行入力で注射処方と検査オーダーを入力する。採決タイミングについて、指示コメントを代行入力する。	令和10年度	薬剤部